

修了後

学び続けるフォローシステム

全国に広がる修了生ネットワーク

兵庫教育大学大学院は、40年にわたって日本全国から現職教員の方が学ばれています。その数は、6,500名を超えています。

全国に大学院同窓会支部があり、様々な活動が行われています。また、兵庫教育大学に「修了生・卒業生連携センター」を設置して、大学院同窓会・学部同窓会と連携して修了生・卒業生・学生の皆さんの教育実践や研究活動を支援しています。

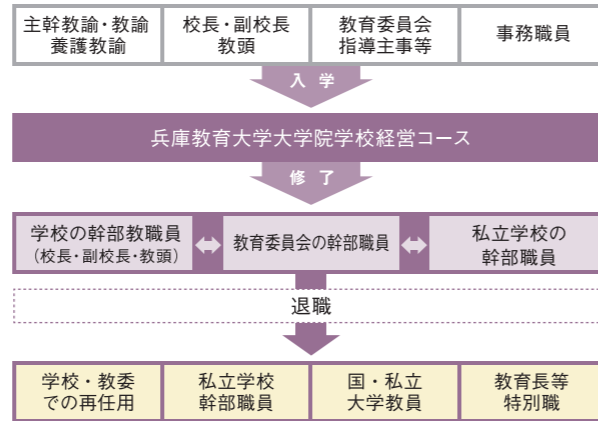


修了生・卒業生への情報発信や情報交換が行える Hyokyo-net ▶

MEMO

学校経営コースには独自の同窓会があり、コース内に事務局があります。また、学校経営コースの修了生が多い県には、県単位で同窓会が組織されています。

修了後のキャリアパス



*学校経営コースの実際のケースを元に作成

兵庫教育大学大学院

【専門職学位課程】教育実践高度化専攻 学校経営コース

School Leadership and Management

担当教員



教授 当山 清実

研究分野 教師教育、教育経営
担当科目 学校経営・教育行政専門職インターナショナル
学校経営・教育行政実践課題研究

教員の職能開発を促進する現職研修と学校危機管理の在り方を中心に研究を進めています。



教授 川上 泰彦

研究分野 教育政策、教育行政学、教育経営学
担当科目 学校・教育委員会の経営と財務
学校・教育委員会のEBPMと評価

国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。



教授 大野 裕己

研究分野 教育経営学、学校経営・学校改善
担当科目 学校・地域協働の理論とデザイン

学校の創発を促す組織課程やリーダーシップの在り方を中心に研究を進めています。また、日・米の学校改革の比較研究にも取り組んでいます。



教授 神内 聡

研究分野 教育法、教育制度、社会科教育
担当科目 学校危機管理の理論と実践演習
教育法規の理論と実践演習

教員と弁護士の双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。



准教授 安藤 福光

研究分野 カリキュラム・マネジメント
小中一貫教育、中高一貫教育
担当科目 カリキュラムのマネジメントと学校のオープンイノベーション

カリキュラム研究、特に小中一貫カリキュラムや中高一貫カリキュラムの研究、高等学校のカリキュラム・マネジメントの研究に取り組んでいます。



准教授 三浦 智子

研究分野 教育経営学・教育行政学
担当科目 学校マネジメントによる組織活性化

学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズにตอบสนองするプロセスや仕組みを研究しています。



客員教授 岸田 隆博

小学校長に加えて、市教育長を含む27年間の教育行政経験があります。皆さんと学べることを楽しみにしています。



客員教授 中井 啓之

私立中高校で現職の校長として学校経営に携わっています。大学院での修学経験を生かした指導に努めます。



客員教授 長井 勲治

特別支援学校と高校での教員・管理職経験、大学院での学び(教育経営学)と指導経験を踏まえ、適切な助言に努めます。



客員教授 浅野 良一

学校組織の活性化プロセスとその実現に向けたリーダーシップを研究しています。

Q&A

Q1. これまでの修了生の人数は？

A1. 学校経営コースは、大学院修士課程・教育経営コース(2004年度入学生まで)、スクールリーダーコース(2005・2006年度入学生のみ)、学校指導専攻(2007年度入学生のみ)を経て、教職大学院・学校経営コース(2008年度入学生以降)に改編し、現在に至ります。教職大学院移行後は、2023年度までに200名を超える修了生を輩出しています。

Q2. 学生はどこ自治体から？

A2. 教職大学院移行後は、地元兵庫を中心に、北海道、秋田、岩手、新潟、茨城、埼玉、東京、神奈川、静岡、愛知、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、岡山、広島、鳥取、山口、福岡、佐賀、鹿児島、沖縄の24都道府県から大学院生を受け入れた実績があります。

Q3. 学生の校種・職層は？

A3. 国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校だけでなく、保育園や私立学校に勤務する大学院生の入学実績もあります。職層は、学校現場の教諭、主幹教諭、教頭に加えて、フレックスクラスでは校長や事務職員の入学実績もあります。また、教育委員会の指導主事等も在学しています。

Q4. 修了後の状況は？

A4. 修了後は、学校管理職として登用される例、教育委員会の幹部として活躍している例が多数です。さらに、博士課程に進学した例、大学教授として研究職のキャリアを選択した例もあります。

全国各地から 多くの職種・校種が 集う教職大学院

国立、公立、私立/校園長、教諭等、事務職員/指導主事等
他の教職大学院にはない、多様な刺激による
コラボレーションの実現

幼稚園等
小学校
中学校
高等学校
特別支援学校

私立保育園
私立小学校
私立中学校
私立高等学校

国立大学附属学校
学校法人本部職員

校園長
副校長・教頭
教諭等

都道府県(政令市)
教育委員会
指導主事等

市町教育委員会
指導主事等

*入学時の直近の校種・職層

【問い合わせ先】兵庫教育大学大学院 入学相談室

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 TEL: 0795-44-2359 FAX: 0795-44-2011 E-mail: guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp



学校経営・教育行政のスペシャリストの育成を図る

改善プラン(教育実践研究報告書)のテーマ例

- 【小 学 校】▶ 少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素 ー学力向上推進リーダーへの質問紙調査からー
▶ 小中合同の学校運営協議会で創る学校 ーコミュニティ・スクールの仕組みの活用ー
▶ 地域住民・保護者と「つながる」カリキュラムマネジメントの創造
- 【中 学 校】▶ 一貫教育の活性化を推進するためのスクールミッションの再構築と学校組織再編 ー義務教育学校への移行に向けた開校プランの提示ー
▶ プロセスマネジメントをベースとした開発的改善 ー生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善ー
▶ 中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察 ー社会に開かれた教育課程の実現をめざしてー
- 【高等学校】▶ 機能する学校組織の在り方についての考察 ー主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心にー
▶ 「学習する組織」としての高等学校の授業改善 ーコミュニティ・スクールの仕組みを活用してー
▶ 探究的な学習によるグローバル・リーダーの育成 ーカリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチー
▶ 予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新 ー地域産業をリードする人材の育成ー
▶ 地域の進学校として選ばれ続ける学校となるための方策 ー地域の教育資源を生かしたキャリア教育推進の視点からー
- 【特別支援学校】▶ 児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり ーカリキュラム・マネジメントによるデザインー
▶ 地域とともに共生社会を実現する学校 ー児童生徒が卒業後に自分らしく生きるためにー

School Leadership and Management

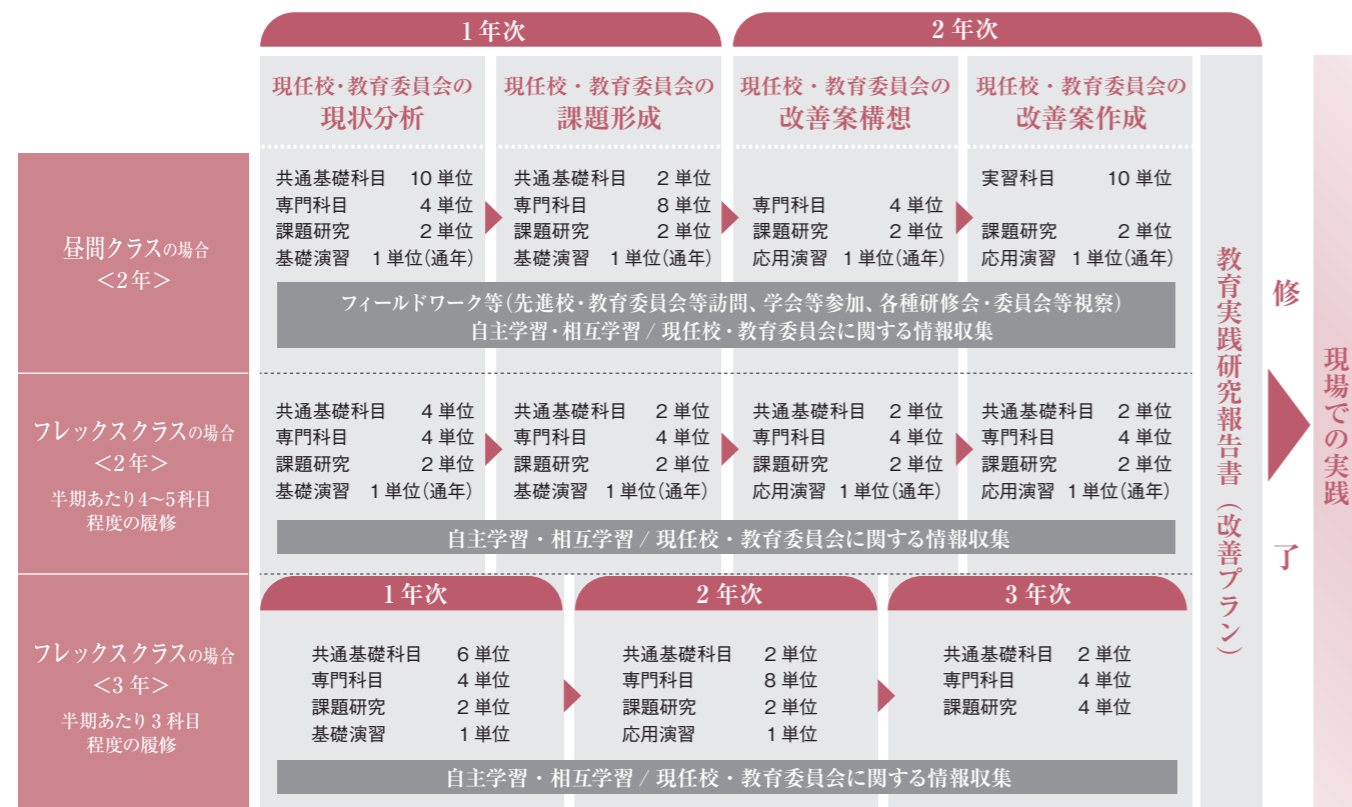
対面とオンラインを選べる 新たな学びのスタイル

全国各地から
修学と勤務の両立が
実現できます。

昼間クラス 2年	フレックスクラス 2年または3年
共通基礎科目 オンライン授業	共通基礎科目 オンライン授業
専門科目 対面授業中心	専門科目 オンライン授業中心
専門科目	専門科目
課題研究	課題研究
インターンシップ(実習) 学校または教育委員会	インターンシップ(実習) 申請により免除

*昼間クラスには、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供

学修プロセス(例)



- 教育委員会
- ▶ 教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方
ー新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探るー
 - ▶ 「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案
ーB県型地域連携教育の取組の充実を通してー
 - ▶ 小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策
ー若手教員の育成を中心にしてー
 - ▶ 学校現場の諸課題に寄り添う県・市町教育委員会の連携の在り方
 - ▶ 教育委員会の学校コンサルティング機能を強化と学校支援の仕組みの構築
ーC市学校教育活性化のための評価連動モデルー
 - ▶ 施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援
ー持続可能な支援体制の構築を目指してー

カリキュラム

幅広い領域の共通基礎科目

領域	授業科目名
教育課程の編成・実施に関する領域	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際
	教育課程の制度的特質と課題
教科等の実践的な指導方法に関する領域	実践的な指導方法に関する理論と実際
	授業における評価の基準作成理論と学力評価法
	授業におけるICT活用
生徒指導、教育相談に関する領域	初等各教科の教材研究・授業づくり(10科目)
	包括的児童生徒支援に関する事例研究
学級経営、学校経営に関する領域	学校における道徳教育の実践研究
	教員のための学校組織マネジメントの実践演習
学校教育と教員の在り方に関する領域	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	教員の社会的役割と自己啓発
	教員のための人権教育の理論と方法
	学校における特別支援教育への対応と方法

*開設授業科目を変更する場合があります。

現代的課題を盛り込んだ専門科目

領域	授業科目名	現代的課題と特色
教育行財政・法規に関する分野	学校・教育委員会の経営と財務	学校経営や自治体教育行政を展開する上で不可欠な諸制度を理解し、先進自治体や先進校の施策がどのように成立しているかを学び、施策立案のヒントを収集します。
	学校・教育委員会のEBPM(エビデンスに基づく政策立案)と評価	どのようにして根拠・分析に基づいた教育政策の企画・立案(EBPM)が行われ、どのようにしてその成果が評価され、改善に結びつけられるのか、一連の体系を学びます。
	教育法規の理論と実践演習	保護者対応・いじめ対応・教員の労働問題など、現場で日常的に発生する法的トラブルについて、スクールロイヤーとともに実践的に検討します。
学校組織開発に関する分野	学校マネジメントによる組織活性化	学校の活性化を実現するため、学校の状況に応じたリーダーシップのあり方と、「つかさどる事務職員」の活躍が期待される業務改善の理論と具体的方法論を学びます。
	教職員の人材育成システムの構築と運用	教職員の能力開発をOJT・研修だけでなく、人事管理の側面からも学びます。また、初任者・若手育成のためのメンター制度の考え方と具体的な進め方を学びます。
学校経営実践に関する分野	学校・地域協働の理論とデザイン	自校や自校を取り巻く地域の強みを生かしたスクール・コミュニティの実現を目指し、地域と学校の関係形成に関する理論と先進事例を学びます。
	カリキュラム・マネジメントと学校のオープン・イノベーション	地域や社会に開かれた学校づくりのカギを握るカリキュラム・マネジメントについて、カリキュラム研究の理論を検討しながら、実践に益する方法を探ります。
	学校危機管理の理論と実践演習	学校事故・感染症対策・個人情報管理など、広範多岐にわたる学校危機管理の論点について、具体的なケースと豊富な裁判例を用いて、スクールロイヤーや研究者とともに実践的に検討します。

*開設授業科目を変更する場合があります。

